



## 大塚先生より

みなさん、こんにちは。もう9月というのに暑いと感じる日が続いています。コロナウイルス感染症がインフルエンザと同じく五類扱いになり、行動制限がなくなってから三か月余り。コロナをはじめ、いろいろな感染症が流行しています。それもコロナ禍と呼ばれる三年を経て、その間にあまり流行しなかった感染症が季節感ナシにいろいろとやってきて、診断し、治療する私たちでさえ、やや混乱しています。

今の就学前の子ども達は、出生後コロナ禍を過ごしてきている子ども達なので、子どもの時にかかることが多く、ワクチンでは防げない感染症に次々と罹患しているのです。その中にももちろん、インフルエンザやコロナということもあるので、受診される方は検査が必要であるという事になります。もちろんこれらのウイルス感染症は、今まで通り、手洗い・換気・咳エチケットで相当減らせます。

病児保育室も五月以降は常にいっぱいです。コロナ感染症は未だ利用できませんが、これも時間がたてば変わってくると思います。利用希望のみなさまに、いろいろと不自由をかけていることだと思いますが、病児保育室内での二次感染を防ぐため、病院内保育室のため院内感染を防ぐために、ご協力をお願いしています。

よろしくおねがいします。



## 小児科外来より

今年の夏は感染症(ヘルパンギーナ・手足口病・アデノウイルス)が3年ぶりに流行しました。RSウイルスやインフルエンザの罹患もあり、もはやウイルスに季節は関係なくなってしまったのでしょうか？

コロナウイルスも依然として高い水準になっています。発熱・風邪症状がある場合は、引き続き受診前に連絡していただき、必要時は検査をお願いしています。ご理解・ご協力のほど、よろしく願います。

猛暑の夏でしたが、最近は朝夕涼しくなりました。気温の変化で体調を崩さないように注意しましょう。

感染症拡大防止にご協力ください



## 活動紹介

### スノードームがキラキラライトに!?

みなさんは子ども達と一緒に、“スノードーム”を作ったことはありますか？この“スノードーム”をライトで照らすと、なんと!?!キラキラライトに変身!

少しずつ日が短くなってきて、夕方には不安になる子どもが出てきました。そんな時には、自分たちで作ったスノードームに光をあててあげると、目を輝かせてじっと見つめています。ライトとスノードームをくっつけるとそれを持ち、暗くなってきたお部屋やトイレ等を探検して喜んでいます。「これがあったら一人でトイレに行く」という子もいましたよ。すごいパワーです。

### ★スノードームの作り方★

#### 《材料》

- ・ペットボトル
- ・洗濯のり ・水
- ・ビーズ、スパンコール
- ・ビニールテープ

- ①ペットボトルに好きなビーズなどを入れる
- ②洗濯のりをペットボトルの1/2入れる
- ③水を入れる(口まで満杯にしない)
- ④蓋をしてビニールテープでしっかり止める
- ⑤完成 ※右上写真参照



光をあてると!!!こんな風になります。少し振って乗せると、泡が光ってキレイです☆

独立行政法人地域医療機能推進機構(ジェイコー)秋田病院

病児保育室はっぴい

〒016-0851 秋田県能代市緑町 5-22 3階ナースステーション隣り

TEL (代表) 0185-52-3271 (予約・問い合わせ) 090-8924-4253

アドレス [happy@akita.jcho.go.jp](mailto:happy@akita.jcho.go.jp) ※メールでの予約対応はいたしません

★次号は12月発行の予定です